



STEP UP

御幸中学校

3年学年だより

令和7年5月30日(金)

第5号

修学旅行を振り返って《B組》

B組

僕はこの修学旅行を通して、各所の「昔」を学べたと思う。京都では、清水寺や三十三間堂などの古くからある建造物に行き、三十三間堂でほとんどの仏像が鎌倉時代に造られていたことにとても驚いた。そして、そのような古くからある建物をここまで保全できていることも、とてもすごいと思った。神戸では、京都と比べると新しい明治～昭和の史跡を見た。神戸空襲の話では街中に普通に残っている弾の跡に



衝撃を受け、講話でも当時の神戸の状態を詳しく学ぶことができた。北野異人館では、今も残っている明治時代の外国人居留地の家を見て、最近の家と比べてもほとんど変わらないように見えた。しかし、多くの建物が有形文化財に登録されているのを見ると、この建物群がどれほどすごいものかが分かった。

さて、もう一つの側面である「絆を深める」ことだが、これはUSJや京都や異人館での散策、さらにはバス内でもすることができたのではないかと思う。特に京都では班長として充実した自主プランの手助けができたのかなと思う。以上からこの3日間は全力で楽しみつつ、たくさん学びがあったと思う。

B組

今回の修学旅行では、『修学旅行でお世話になった人に挨拶をする』ことを目標にしました。結果としてはまあまあといったところでした。たまに忘れたり、愛想が悪く感じられそうな適当な挨拶をしてしまったりしたので、「やってしまった。」と思いました。



発見したことは、京都、大阪、さらには神戸まで、外国人（中国人やアメリカ人など）が思っていたよりも多くいたこと、戦争中に神戸で起きていたことなど、私の知らなかつたことがさまざましたことです。私はあまり京都のことを知らないのに、知った気になっていたなと思うところがありました。私にとってこの修学旅行はとても勉強になったと思いました。

B組

修学旅行で意識して頑張れたことは、集団として自分勝手な行動をしないことです。普段の旅行とは違い、学校の行事の1つとして行くので、いろいろな場所で周りの人のことを考えることができたと思います。学んだことは、分からぬことがありますれば聞くと言うことです。自主プラン中にどこに売っているのかが分からなくて、自分たちでは解決できないことを、近くのお店の人に聞きました。そこで、自分たちで解決できないことはずっと考えるのではなく、自分たちよりも詳しい人に聞けば、時間を無駄にせずにできると思ったからです。

そして、発見したことは、観光客の人たちはとても優しいということです。集合写真を撮りたくて困っていたときに「写真を撮りますか。」と言ってくれたからです。あまり外国の方々と話す経験がなかったので、改めて優しいなと感じました。この修学旅行を通して、普段の旅行では経験しないであろう経験をたくさんすることができました。このことをこれから学校生活に活かしていきたいと思います。とてもいい思い出になりました。



B組

3日間の修学旅行を振り返って意識したことは、ルールやマナーです。京都、兵庫、大阪では私が初めて行く建物や駅などがたくさんありました。他の学生や利用者に迷惑をかけないよう広がって歩かないようにしたり、切符や昼食、受付でお金を払う場面では会計係としてスムーズに支払ったりと、きちんと行動できました。このように、中学生、利用者としてしっかりすることと、USJや自由時間に楽しむことのメリハリがこの修学旅行の3日間できたと思います。

学んだことは、京都や神戸の町や寺、城の歴史、伝統文化を直接見たり説明を聞いたりして知ることができたことです。京都では寺や城のつくりや、江戸時代にあった戦いなどの出来事を学べました。兵庫では戦争の大変さや平和について、異人館では外国の建物のつくりや家具などについて学べました。

修学旅行で一句！



〔京都にて〕

友達と 歩き疲れた 自主プラン

足運び 見て触れて知る 京の街

最後まで 登れなかった 稲荷山

楽しいな 古都で探検 京の街

〔神戸にて〕

空襲の 怖さと苦痛を 次世代に

暑い中 みんなと食べた うまい飯